

## 5 月定例記者会見質疑応答記録用

▽日時:令和3年5月27日 午後2時から

▽会場:稲敷市役所 4階全員協議会室

▽参加記者:読売新聞、茨城新聞、時事通信社、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞 計6名

▽参加者(市):市長、副市長、教育長、行政経営部長、地域振興部長、保健福祉部長、教育部長、行政経営部企画監(秘書政策課長)、教育委員会企画監(教育政策課長)、総務課長、企画財政課長、健康増進課長、同ワクチン接種対策室長、まちづくり推進課長、地域おこし協力隊2名

### ■資料

別紙のとおり

### ■市長あいさつ

改めまして、皆さんこんにちは。本日は、お忙しいところお集まり頂き、ありがとうございます。記者の皆さま方には、日頃より、本市の市政情報の発信等にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、令和3年度最初の定例記者会見でございます。毎年のごとではありますが、本市も4月1日に定期人事異動を実施しましたので、担当職員も何名か変わっております。また、記者の皆さま方も人事異動等により、新たにご担当になられた記者の方もいらっしゃると思いますが、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。さて、新型コロナウイルス感染症でございますが、変異株の拡大等により、現在第4波ともいわれる感染が全国に広がっており、全国各地で、再度の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、本市においても感染者が確認されるなど、いまだに終息の目途(めど)は、立っていない状況でございます。市民の皆さま方には、引き続き、感染拡大地域への不要不急の往来自粛や、手洗い、マスクの着用など、基本的な感染防止対策の徹底を、お願いしているところでございます。そうした中、本市におきましては、今週24日から、65歳以上の方への医療機関でのワクチン接種が始まりました。このワクチン接種は、市民の皆さまの安全確保に向けて、そしてコロナ収束に向けて、極めて重要であります。

さらに、6月9日からは集団接種が始まることから、引き続き、医師会の皆さまをはじめ、関係機関と緊密な連携を図りながら、安全かつ円滑なワクチン接種が進められるよう、万全を期して参りたいと考えております。コロナ禍により、昨年来、私たちの生活は一変しましたが、これからは、感染拡大を予防するための新たな生活様式の実践等、アフターコロナ時代を見据えた、新たなまちづくりが求められております。本市としましては、これからも市民の皆様と心をつなげて、決して立ち止まることなく、住みよいまちづくり、安心安全なまちづくりに向けて、この難局を乗り越えて参りたいと、決意を新たにしております。引き続き、記者の皆さま方には、本市の様々な情報の発信等に、ご協力をお願い申し上げます。

本日は、来月1日開会予定の令和3年第2回稲敷市議会定例会に上程予定の各議案等につきまして、このあと、ご説明させていただきますので、本日は、どうぞよろしくお祈りいたします。

## ■質疑応答

### 【新型コロナウイルスのワクチン接種について】

Q:9月末まで受付していた予約を前倒しすることに対して、市長からの市民へのメッセージを聞きたい。

A:市民の皆さんの関心が高く、国の意向もあるので、7 月末までに高齢者への接種を終えたいと考えている。1日でも早くワクチンを接種したいという希望に応えられるように、各医療機関に協力を要請して接種の枠を広げることで、接種の前倒しを進めている。

Q:現在8月、9月接種の予約をしている人数は。

A:約 6000 人。予約の前倒しについて、市民への周知をどのように行うか、現在検討している。

Q:接種の枠を広げるには医療従事者が足りないと思うが、どのような支援を県に要請しているのか。

A:医師及び看護師の派遣を要請し、医師3人、看護師6人の派遣ができると回答が得られた。派遣に伴い6月21日～7月31日まで枠を拡大予定。

Q:派遣された医師及び看護師はどのように配置されるのか。

A:当初日曜日のみ開設予定だった稲敷市保健センターに配置し、平日も集団接種を実施する予定。

Q:接種完了について、総務省から市長へお願いの電話はあったか。プレッシャーを感じたか。

A:電話はいただいた。プレッシャーということはなく、むしろこちらから協力や支援について要望をお伝えする機会になった。

### 【稲敷工業団地開発推進事業 埋蔵文化財発掘調査 現地説明会について】

Q:現地説明会のメインになるのは山王原遺跡の竪穴建物跡か。

A:22 棟の竪穴建物跡をメインとして説明会を行う予定。

Q:遺跡は工業団地造成で埋め戻して、今後見学する事はできなくなってしまうのか。また発掘調査による造成スケジュールへの影響はあるのか。

A:遺跡は記録した後、造成で埋め戻す。6つの遺跡のうち長者山遺跡のみ開発造成のエリアから外しており、現状保存をする。発掘調査による造成スケジュールへの影響はない。

### 【東京 2020 オリンピックの事前キャンプについて】

Q:他市町村で中止が相次いでいるが、オーストラリア代表によるトランポリン事前キャンプはどのような状況か。

A:オーストラリア側と連絡を取り合い、今のところは予定通り実施することを確認しているので、準備を進めている。